

鼻の下の赤みが消えません

毛細血管拡張症は保険適用のレーザーで治療できます

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>

頬や鼻下の赤みが消えない毛細血管拡張症について日本皮膚科学会認定

原因は？

皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

「毛細血管が拡張する原因は多岐にわたります。肌が乾燥しすぎて毛細血管を刺激したり、紫外線による刺激、ニキビや脂漏性湿疹などによる皮膚の炎症など、血管の拡張した状態が長く続くと調節が効かなくなり、毛細血管が開きっぱなしになります。頻繁な飲酒

どんな症状ですか？

「真皮の毛細血管が拡張して血流が増え、肌の赤みがとれない状態です。頬や鼻の下などにできやく、寒暖差や緊張などで一時的に赤くなるのではなく、同じ場所に持

頬や鼻下の赤みが消えない毛細血管拡張症について日本皮膚科学会認定

原因は多岐にわたります。肌が乾燥しすぎて毛細血管を刺激したり、紫外線による刺激、ニキビや脂漏性湿疹などによる皮膚の炎症など、血管の拡張した状態が長く続くと調節が効かなくなり、毛細血管が開きっぱなしになります。頻繁な飲酒

治療法は？

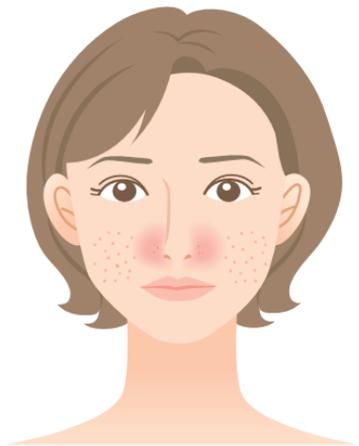
「毛細血管は一度拡張してしまつと自然には戻りません。命に関わるような深刻な病気ではありませんが、顔にできやす

頬や鼻下の赤みが消えない毛細血管拡張症について日本皮膚科学会認定

原因は多岐にわたります。肌が乾燥しすぎて毛細血管を刺激したり、紫外線による刺激、ニキビや脂漏性湿疹などによる皮膚の炎症など、血管の拡張した状態が長く続くと調節が効かなくなり、毛細血管が開きっぱなしになります。頻繁な飲酒

頬や鼻下の赤みが消えない毛細血管拡張症について日本皮膚科学会認定

原因は多岐にわたります。肌が乾燥しすぎて毛細血管を刺激したり、紫外線による刺激、ニキビや脂漏性湿疹などによる皮膚の炎症など、血管の拡張した状態が長く続くと調節が効かなくなり、毛細血管が開きっぱなしになります。頻繁な飲酒



小鼻の周りや頬などにつねに赤みが広がった状態が毛細血管拡張症です。

や寒暖差なども原因の一つになります。内臓疾患が影響することもあり、肝硬変の場合は胸や首などにクモ状血管拡張が起きます。女性は妊娠によって血流が増えることで発症することもあります。

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)



問い合わせ

中野皮膚科クリニック

中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分

☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

2018年3月17日付 「リビング東京副都心」に掲載されました